

【文化学部】令和6年度 学部教学マネジメント報告書

3つのポリシーに基づいた学修者本位の教育の実現に向けて、学部教学マネジメントに関する以下の観点について各学部で計画・実行・検証し、次年度以降の改善に繋げることとする。

1. 学部における教学マネジメントの組織体制の変更点 ※計画書から変更があった場合

変更なし。

2. 体系的かつ組織的な教育課程の編成・実施を支える各ツールの改善に向けた今年度の取り組みと取り組みを通して明らかになった課題

今年度の取り組み

①カリキュラムマップ

新規開講科目についてカリキュラムマップへの反映を行った。

なお、令和8年度新カリキュラムのカリキュラムマップ作成未着手のため、現時点で特に具体的な課題なし。

②シラバス

カリキュラム委員会を中心にシラバスチェック結果を共有し、改善に取り組んだ。

なお、令和8年度新カリキュラムのシラバス作成未着手のため、現時点で特に具体的な課題なし。

③その他（カリキュラムツリー、ナンバリング等）

特になし。

課題

上記のとおり、令和8年度新カリキュラムの取組み未着手のため、現時点で特段の課題なし。

なお、複数学科における検討等については、継続して文化学部教学マネジメント運営委員会において教員協同による組織的な取組みを進める。

3. 学修成果・教育成果の把握・可視化の今年度の取り組みと取り組みを通して明らかになった課題

今年度の取り組み

出口における質保証の可視化を目指し、各演習クラスにおける卒業論文集作成等支援のための予算計上を申請した。

課題

予算不採択であったこと、各演習クラスにより成果物が卒業論文・卒業発表・卒業制作等と多様であることから、特に令和8年度新カリキュラムにおける質保証可視化のあり方を学部として再整理する必要がある。

4. 授業科目の到達目標の達成状況および学生の資質・能力の修得状況の評価と明らかになった課題

評価（授業科目の到達目標の達成状況 および 学生の資質・能力の修得状況）

GPAに基づき履修登録上限単位数を設定するCAP制を導入していることから、GPA分布等の共有を行った。

課題

特になし。

アセスメントプランの取り組み

①結果

令和8年度新カリキュラムのカリキュラムポリシーについて、養成する人材像・ディプロマポリシー・アドミッションポリシーとの相関・体系性を重視し検討した。

また、外部アセスメントテスト（GPS-アカデミック）分析・検証結果を文化学部教授会で共有した。

②課題

特になし。

※この内容は令和6年度以降、本学における教学マネジメントの一環として、本学HPへの掲載を検討します。